

平成28年4月に着任して以来、開進第二中学校で7年半勤務をさせていただきました。その間、学級担任、生活指導主任、学年主任、教務主任、ソフトテニス部顧問、バドミントン部顧問など、様々な役割に任じ、充実した日々を過ごさせていただきました。

しかし、この度、足立区立第九中学校の副校長に任じられ、慣れ親しんだ開二中を去ることとなりました。

たくさんの良い思い出がありますが、一番は、着任してはじめて担当した、元気あふれる5クラスの子どもたちと過ごした3年間と、卒業前の集会、そして卒業式です。とにかく涙が止まらなかったことを今でも思い出します。当時の生徒たちも来年の1月に成人式を迎えます。きっと、立派に成長し、それぞれの道を力強く突き進んでいることでしょう。

その当時、ともに働き、お世話になった先生方もみなすでに開二中を去られ、寂しい思いもありましたが、次々にやってくる個性豊かな新入生たち、パワーあふれる先生方、地域や保護者の皆様に支えられながら、何とかやってこられました。ありがとうございました。

コロナの影響で、様々な行事や体験活動が制限されてからは、生徒たちとの日々の関わり方や、信頼関係を深めることに難しさを感じるようになりましたが、授業や行事、休み時間でのふれあいを何よりも大切にしながら、精一杯楽しむことができました。

心残りがひとつ。3年生の卒業を見届けることができないことです。確固たる覚悟と強い思いを抱き、学年主任として迎え入れようとした矢先、コロナの影響で登校すらできず、電話、オンライン、分散登校とつづき、入学式を実施できたのは6月になってからでした。

その生徒たちもこの2年半で様々なことを乗り越え、自分の進路と向き合う時期に辿り着きました。「よくぞまで頑張った!」と言ってあげたいですが、勝負はここから。進路決定と義務教育修了となる日まで、仲間たちや先生方とよく話し、挑戦し、信頼し合いながら、何よりも自分を信じて、力強く歩んでいってください。

本当にお世話になりました。いつまでも応援しています。ありがとうございました。

令和4年9月30日

五木田 修